

北京語言大学

Q 学校主催のイベントがあれば、時期や詳細を教えてください。

- ・運動会
- ・文化見学(中国伝統文化)
- ・水墨画体験(クラス全員参加、12月)
- ・定期的なサークル発表会など。随時開催。
- ・サークル勧誘会
- ・中秋名月祭
- ・4月に文化祭が行われる予定。

Q 留学生事務所に日本語でやり取りできる先生(職員)はいますか。

- ・出会ったことはない。
- ・留学事務所にはいないが、日本人の先生がいらっしゃるのとおそらく助けていただくことは可能
- ・日本人学生向けのオリエンテーションは日本語が話せる大学院生に説明していただいた。
- ・公費留学生担当の部署には英語が話せる先生がおり、中国語が話せなくても書類提出などは可能だった。

Q 授業が無いときはどのように過ごしていますか。

- ・積極的に中国人や外国人の友人と遊びに行く。
- ・学校の活動などよりも個人で交流することの方が多い。
- ・図書館で勉強。自習。
- ・北京市内を観光
- ・寮で中国の映像を見る。
- ・友人と交流する。
- ・映画を見る。
- ・外に出かける。

Q 留学している学校の良い面を教えてください。

- ・留学生が多いため割とサポートがしっかりしている。
- ・留学生用のカリキュラムの内容が整っている。
- ・文化交流のイベントが多い。
- ・日本語を学んでいる学生と交流できる。
- ・留学生が多い。多様な国籍の学生がおり、人脈や文化理解、価値観が広がる
- ・駅や観光地へのアクセスが良い。
- ・校舎が狭く教室移動が他と比べると便利

Q 留学している学校の悪い面を教えてください。

- ・日本人が多いのでどうしても日本語を話す頻度が多くなる。
- ・留学生が多いため英語を話し続ける学生も多く、不自然な中国語に疑いを抱けなくなる。
- ・部屋は2人部屋と聞いていたが、実際は4人部屋だった。
- ・公費留学生が無料で住むことができるのは4人部屋のみで冷蔵庫がない、寮内で揉め事があったらもうやむやにされることがある(騒音問題など)。寮のシャワーがたまにお湯が出ないことがあり不便。寮の部屋を隔てている壁がとても薄く、隣人の話声が聞こえてくる。

留學生活についての全体的な感想を教えてください。

- ・ 留學生活はとても充実している。
- ・ 自分の母国ではない国で生活をすると言うことはやはり大変ではあるもののやりがいがある。
- ・ 語学だけではなく留學にきている学生と交流できるため中国以外の文化や考え方も学べるのでこの学校を選んでよかったと思う。
- ・ 授業はとても楽しく、中国語の能力が向上している実感がある。ただし授業以外では自ら進んで交流しなければ中国人と出会う機会はなく、そこが自分自身の課題であると感じている。
- ・ 留學する前にはHSK5級8割ほどで、リスニングとスピーキングに自信がありませんでしたが、現在は少し自信が付いています。3月にHSK6級を受験する予定です。
- ・ 毎日中国語を使わなければならない環境に身を置くことができおり、毎日勉強の日々です。
- ・ 他の外国人留學生との文化が違うので、少しトラブルがありました。
- ・ 卓球やサッカーなどスポーツに取り組み、三食食べて健康的な生活を過ごすことができている。ただし勉強に集中するあまりに中国人との交流が少なかったため、次の学期では積極的に交流しようと考えています。
- ・ 二胡に興味があるので購入し、中国人と一緒に演奏してみたいです。
- ・ 食生活はかなり慣れました。食堂は安くて美味しいものばかりでお財布にとっても優しいです。私の毎月食堂で支払う金額は150元～200元前後です。辛いものが好きというのも相まって毎日辛い料理を食べていました。そうすると辛さも段々と慣れてきて、より快適に食事を楽しめるようになりました。
- ・ 寮生活に少し不満があるだけで、その他は想像以上に良い生活を過ごすことができている。
- ・ 留學生活は大変充実しており、間違いなく今までで最も楽しい時間の一つであると思う。外の視点から見た日本の姿を知る事が出来たし、改めて日本が好きになった。
- ・ 様々な価値観に触れる中で自分の将来したいことや目標などが明確化されてとてもよい経験になっています。